



# 薬局だより

白庭病院  
2016年10月



今年もインフルエンザの季節がやってきました。9月に入り、早くもインフルエンザの報告がありました。

季節性インフルエンザは、日本では初冬から春先にかけて毎年流行します。多くは自然に治癒しますが、重症化すると肺炎、気管支炎等を発症し生命に危険が及ぶ場合があります。

**インフルエンザ重症化の予防には、インフルエンザワクチンの予防接種が重要です。**

10月よりインフルエンザワクチンの接種が始まります。是非、早めに予防接種をうけてください。

## インフルエンザ予防接種のQ&A

### Q1. いつごろ予防接種にいけばよいですか？

A. ワクチン接種後、効果が期待できるまでに約2週間かかります。インフルエンザの本格的な流行は11月下旬から12月上旬から始まるため、11月中には予防接種をうけることをお勧めします。

### Q2. 去年インフルエンザワクチンを接種したが、今年も予防接種は必要ですか？

A. 必要です。

その年によって流行するインフルエンザウイルスの型が異なります。ワクチンもその年によって流行すると考えられるウイルスに合わせて製造されています。また、ワクチンの効果は接種後5か月程度といわれていますので、毎年接種が必要です。

### Q3. インフルエンザワクチンを接種したらインフルエンザにはかかりませんか？

A. かかることがあります。

ただし、ワクチンを接種していることで重症化が予防できます。

### Q4. はしかや風疹等、他の予防接種と一緒に受けることはできますか？

A. その都度、医療機関で相談してください。

ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があります。ワクチンの種類や打つ順番によって、あけなくてはいけない間隔が異なります。先生の判断で同時に接種できることもあります。

## お家でできるインフルエンザ予防

インフルエンザは飛沫感染です。飛沫感染とは、咳やくしゃみなどとともにインフルエンザウイルスが小さな飛沫（しぶき）となって空気中に飛び散り、これを周りの人が吸い込むことや、インフルエンザウイルスがついた手で、目や口を触ることで感染します。



インフルエンザが流行りだしたら

- ・うがい、手洗いを行う
- ・十分な睡眠とバランスの良い食事を
- ・人込みに出かけるときはマスクをする
- ・室内を適度な湿度に保つ（乾燥しすぎはウイルスが増えやすくなります）

他の人にうつさないために

- ・咳やくしゃみがでるときは、マスクをするよう心がけましょう

最後にインフルエンザにかかってしまったときの治療薬を簡単に紹介します。

## インフルエンザの治療薬

①内服薬：タミフル（カプセル・細粒）

投与方法：＜治療＞ 1日2回 5日間服用

＜予防＞ 1日1回 7～10日間服用

特徴：内服薬であり使用が簡単である。

注意点：薬との因果関係は不明ですが、使用後に異常行動の報告があります。10代の患者には原則使用せず、使用後は異常行動がないかの観察が必要です。

②吸入薬：イナビル吸入薬

投与方法：＜治療＞ 1回吸入

＜予防＞ 1日1回吸入 2日間

特徴：1回吸入で効果を発揮するので服用忘れがない。

③吸入薬：リレンザ吸入

投与方法：＜治療＞1日2回吸入を5日間

＜予防＞1日1回吸入を10日間

④注射薬：ラピアクタ 注

投与方法：1回点滴

重症度によって数日間投与されることもあります。

特徴：内服が困難な方や入院患者さんに使用しやすい。予防には使用できない。

インフルエンザの治療薬は**発症後 48 時間以内**に使用しないと、効果が期待できません。おかしいと思ったら、早めに医療機関を受診してください。